

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 28 年度 第 9 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 29 年 2 月 16 日 午後 6:50～午後 8:40
- 2.開催場所 東京大学工学部 14 号館 7 階 713 会議室
- 3.理事総数 15 名
- 4.出席者数 7 名（書面表決書 4 名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、小林均、黒田伸、比嘉正樹、池上孝則 敬称略）
書面表決書（前河洋一、鈴木良雄、森川貞夫、岩山海渡 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（1 月 16 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として黒田伸氏と比嘉正樹氏が選出された。
- 第 3 号議案 国際交流パーティについて
保原氏より、準備状況について報告があり、今後の集客等について審議した。
■現時点での一般の申し込み者数は 6 名で、理事等関係者 9 名を加えても 15 名である。
保原氏が別途声かけをし、参加して頂けそうな 25 名を加えても 40 名程度であるとの報告があった。
■各理事の集客状況について説明があり、山西理事長関係では、52 日間連続マラソン記録保持者の楠田氏、365 日間連続マラソン記録保持者のステファン・エンゲルス氏およびその友人 3 名が参加、小林氏関係では娘さん夫妻 2 名参加との報告があり、現在外国出張中の高橋氏より連絡があったオーストリア人 1 名を含む数名を含めると現時点では 50 名程度の見込み。
■池上氏より東京マラソン EXPO 会場で外国人対象に参加費半額のビラをまいて集客するという案が提案され承認された。
■したがって、お店への発注数は前日昼の確定数を踏まえて行うことになった。
いずれにしても、最低保証数は 50 名である。
- 第 4 号議案 協会運営について
■次期役員について
基本的には、退任の要望があった吉村氏以外は留任をお願いすることになった。
ただし、藤田氏に関しては 4 年間年会費納入がなくなかなか連絡が取れないので、連絡が取れば理事を継続して頂けるかどうかの確認をすることにした。
新規理事としては、高橋氏に承諾を頂いているが、ランニング関係者以外ではアームレス

リングの国際審判員である大村氏に打診中である。

■主たる事務所の移動先について

東大工学部精密工学の事務所で登記できるかどうかを確認して最終決定することにした。

■会員募集について

黒田氏担当のチラシ作成が遅れているので、次回、あらためて審議することにした。

次回までに各自アイデアを考えてくることになった。

第5号議案 平成29年度事業計画について

保原氏より、これまでランニング以外の分野に活動範囲を広げることも視野に入れて活動してきたが、当協会のマンパワーを考えるとむしろ事業の絞り込みを検討すべきではないかとの提案があった。

しかし、これまでの活動経緯上、止められないものだけでも下記事業があるので、これだけは事業を継続することにした。

■各種ランニング教室

J S I E マラソン完走教室、熟年ランニングスクール

浦安美走塾、千葉県民の日子どもランニング広場

北海道マラソン教室

■メルボルンマラソン日本事務局

■トスカーナキャンプ関連事業

市民ランナー体験ツアー、エリートランナー支援事業、ジュニア育成事業

■孫基禎平和マラソン関連事業

■国際交流パーティ

その他、新規事業については当該事業を運営できる人材が確保出来るかどうかに関わってくるので、状況を見ながら決めていくこととした。

第6号議案 その他

■次回理事会について

次回理事会は3月23日(木)の18時30分から東京大学工学部工学部14号館で開催することになった。


⇒ 後日、山西理事長の都合により3月16日(木)に変更。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時40分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成 29 年 2 月 16 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 小石 拓中 

議事録署名人 黒田 紳 

議事録署名人 比嘉 正樹 